

日刊建設工業新聞

優動
comfortable space
空間

豊かな経験・最高の技術
ロープ式・油圧式エレベーター設計・製作・据付・保守
横浜エレベータ株式会社
横浜市中区松影町2-8-6 ☎045(662)1594(代表)
<http://www.yokohama-elevator.jp/>

Vers Une Architecture
建築へ

老朽施設を強く長寿命に

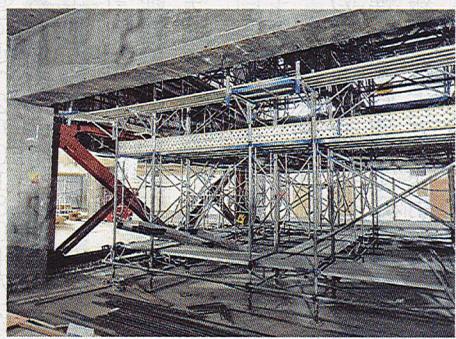
秋田市の中心部、JR秋田駅前で10月のオープンを予定している商業施設「秋田オーパ」。築43年が経過した商業施設を時代のニーズに合った施設へと再生するための改修工事が進んでいる。その工事で取り入れている改修手法が、青木茂建築工房(青木茂代表取締役)が提唱する「リファイニング建築」。既存躯体を最大限活用しながら、建物を軽量化するための吹き抜けや外部露出出したRC耐震壁を新設するなど内外装を一新。老朽化した商業施設が、耐震性と意匠性が両立した新築同様のファッショビルに生まれ変わる。

(編集部・堀井厚志)

秋田フォーラスリファイニング工事



JR秋田駅前で改修工事が進む秋田オーパ



既存スラブを撤去して吹き抜けを新設し軽量化を図る

秋田市の中心部、J R秋田駅前で10月のオープンを予定している商業施設「秋田オーパ」。築43年が経過した商業施設を時代のニーズに合った施設へと再生するための改修工事が進んでいる。その工事で取り入れている改修手法が、青木茂建築工房(青木茂代表取締役)が提唱する「リファイニング建築」。既存躯体を最大限活用しながら、建物を軽量化するための吹き抜けや外部露出出したRC耐震壁を新設するなど内外装を一新。老朽化した商業施設が、耐震性と意匠性が両立した新築同様のファッショビルに生まれ変わる。

リファイニング建築は、既存躯体の約80%を再利用しながら、建物の軽量化や補強によって耐震性能を向上。大胆な意匠の転換や用途変更、設備の改修で長寿命化を図り、建て替える60~70%のコストで建築物を再生する。確認済証や検査済証、第三者機関による現行の耐震基準に基づく耐震診断評定も取得。竣工時期が古くて検査済証がない建築物でも、新築と同等の価値を持つ建物として有効活用できるようになる。これまで集合住宅を中心に、オフィスや商業施設、学校、病院などをさまざまな用途の建築物で100件以上の実績がある。

今回、秋田駅前で施工する「秋田フォーラスリファイニング工事」は、1974年に旧耐震基準で建てられたSRC一部S造地下1階地上8階塔屋2階建て延べ2万047

6平方㍍の商業施設を、新耐震基準を満たすよう耐震補強しながら、今後30年使い続けられる施設へと長寿命化を図

る。秋田で初めてリファイニング建築を行う施設となる。

上を図る。

既存躯体8割再利用

計画の最大の特徴は、機能や意匠性を向上させながら行う耐震補強工事。建物中央部は既存スラブに開口を開けて1~4階の連続した吹き抜けを新設。吹き抜け周りと隣接するエスカレーター脇に一般的なK形ブレースを配置する。

吹き抜けを新設することで建物を軽量化し、耐震性を高める一方、鉄骨ブレースはセットプレートやボルトを木柱は鉄筋巻きで補強した。本地下1階南柱はRC巻き、吹き抜け部を支える6本を設置。耐震壁を支持する2

柱の外壁は、いったん躯体を撤去してRC耐震壁を設置。耐震壁を支持する2

柱の外壁は、いったん

柱の外壁は、いったん